

2018年資料

丹波黒大豆 栽培のポイント

平成 30 年 5 月 28 日 (月)
豊岡農業改良普及センター

1 土づくり 石灰と

堆きゅう肥を入れて土を肥やす。

- 初期生育の活性化。
- 分枝の発生、出葉速度も高まり、総節数が増える。

元肥
 初期生育に少量必要。根粒菌が共生し窒素を
 白高地区は地方が異なるので元肥は減らす。
 取れにくい

根粒形成は出芽3週間後から。それまでは土壤中の窒素が必要。

連作障害は3年で出る。但し有樹林のほ場は出にくい。

2 播種

移植の10~14日前を目安に播種を行う。種は下向きにしっかり埋める。
セルトレイの場合、播種時には十分に灌水を(2L/枚程度)。

過湿になるため、覆土前に! 覆土後の水やりは酸欠と列
 芽が出たら水をやる。黒皮地は深く 芽が出にくい

シルバーシートによる乾燥防止(特にセルトレイは乾燥しやすい)
防鳥ネットによる鳥害防止(露地の場合)

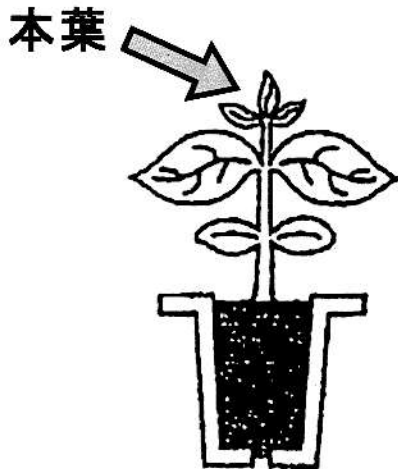
3 移植

本葉(三つ葉)が見え始めた頃(草丈約10cm)。

子葉(豆葉)の元まで深植えで。

植え付け間隔(株間)は十分に(45~50cm)程度が目安。

土壤状態は、移植ゴテに土が付かない程度の水分が理想的。



4 中耕培土（土寄せ）

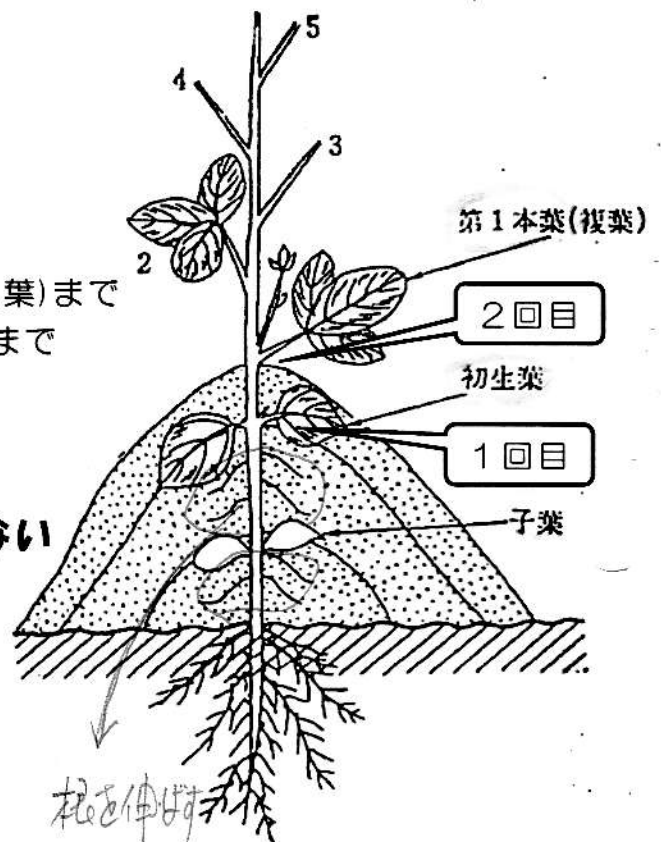
効果

- ・ 除草
- ・ 倒伏防止
- ・ 不定根の発生
- ・ 灌排水が行いやすくなる

- ✓ 本葉2～3葉頃（7月上旬） 初生葉（丸葉）まで
- ✓ 本葉5～6葉頃（7月中旬） 第1本葉まで

2回は行って下さい。

**※開花期直前（7月下旬）以降は、
伸びてきた根を傷めるので行わない**



5 適度な土壤水分

花芽分化期、開花～着莢期は特に水分が必要

- ・ 花芽分化期～開花始期の乾燥
花数の減少
落花、落莢の増加
- ・ 開花終期の乾燥
落莢と不稔莢の増加
- ・ 開花終期以降の乾燥
百粒重の低下

畝間の谷が白く乾いてしまう前に、**早朝もしくは夕方**に走水を通す。

日中の高温時には水が引いているように！

溜め放しは根腐れの元！！

溜まった水が、お湯になる